

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)九州電気保安協会 社屋 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.39					3.4
1 音環境		3.4	0.15					3.4
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		4.2	0.40					
1 開口部遮音性能	T-2以上採用	5.0	0.60	3.0				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0				
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0				
2 温熱環境		3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38	3.0				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37					
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0				
3 光・視環境		3.8	0.25					3.8
3.1 昼光利用		4.1	0.32					
1 昼光率	昼光率 2.6%	5.0	0.59	3.0				
2 方位別開口				3.0				
3 昼光利用設備		3.0	0.41	3.0				
3.2 グレア対策	ブラインド+庇を設置	4.0	0.29					
1 昼光制御	ブラインド+庇を設置	4.0	1.00	3.0				
3.3 照度	全般照明方式の場合で、照度が500lx以上1000lx未満。	4.0	0.15	4.0				
3.4 照明制御		3.0	0.24	3.0				
4 空気質環境		3.7	0.25					3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	3.0				
2 アスベスト対策								
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.34	3.0				
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.34	3.0				
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	分煙室を設置	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.6
1 機能性		3.4	0.40					3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0				
3 バリアフリー計画		3.0	0.35					
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30					
1 広さ感・景観	天井高さ 2.7m	4.0	0.34	3.0				
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設備	5.0	0.33					
3 内装計画	評価する取り組みのうち4つの項目に該当	5.0	0.34					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30					3.6
2.1 耐震・免震		4.0	0.50					
1 耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する	4.0	0.80					
2 免震・制振性能	制振装置を導入	4.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30					
1 躯体材料の耐用年数	1.25倍 等級2相当	4.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数20年の材料試用	4.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			3.4	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	評価する取組みが4つ以上	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.8m	4.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.21	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		事務室3,900N/m ²	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応したルートが確保され、かつ更新・修繕時	5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペース有り	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.84、BEI=0.76	4.0	0.19	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.77 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.51	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		太陽光発電採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			5.0	0.20	-	-	5.0
集合住宅以外の評価			5.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	レベル4に加え、主要な設備システムに関しては、システム効率の評価	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	レベル4に加えて、運用時の定期的な設備性能検証、不具合是正等	5.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			4.2	0.20	-	-	4.2
1.1 節水		節水コマ、省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.4	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用をしている。利用率39%	5.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		換算スコア5.0	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場・駐輪場の計画で評価ポイントの合計値が3である	4.0	0.50	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.50	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」を過半を満たし、広告照明がない。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	PC庇、縦フィンで反射光(グレア)の発生を低減させる取組みを行って	4.0	0.30	-	-	